



わくわくドキドキの入園式

和田幼稚園では、りす組17名とぞう組1名の入園式が行われ、緊張した表情で入園式に臨んでいました。(4月7日和田幼稚園)

3月定例会

- ◆ 10会計23年度予算を可決…………… 2P~
- ◆ 市長へ新年度予算総括質疑…………… 4P~
- ◆ 議案審議・国へ震災対策を緊急要請…………… 6P~
- ◆ 市内震度5強！「東日本大震災」被害調査報告…… 8P

3月 定例会

3/9～3/25

新年度予算編成方針(抜粋)

本宮市が誕生し5年目を迎えるにあたり、「ステップアップもとみや」をスローガンに、向こう4年間の市政の基本としながら、活力に満ちた希望ある本宮を創造するため、市民の声を聞きながら魅力あるまちづくりを行います。

「ステップアップもとみや」6つ公約と新規事業

1つ、市民が主役のまちづくり

行政情報を分かりやすくお伝えするため、広報紙の2色刷りやホームページのリニューアルなど情報発信に努めます。

2つ、フットワークのある行財政

納税サービス充実のため、コンビニ等での納付導入を検討します。

3つ、活気あふれる経済

本宮市工業等団地第6工区への企業誘致や白沢地区への企業誘致地域の検討、ペットボトル水を製造し、美味しい水道水のPRと普及に努めます。

4つ、まち全体で支える教育

各学校のコンピュータシステムを年次計画で更新、岩根小学校の校舎増築と体育館建設敷地の調査などを行います。

5つ、誰もが暮らしやすい環境

高齢者用肺炎球菌ワクチンなどの無料接種、高齢者認知症の方へGPSシステム無料貸し出しなどを実施します。

6つ、魅力ある安全なまちづくり

白沢総合支所周辺施設と環境整備を行うための基本計画策定、岩根大池整備事業や消防団屯所の改築などを行います。

このほか、「第1次総合計画」との整合性を図りながら、新市の将来像である「水と緑と心が結びあう未来に輝くまちもとみや」を実現するため、地域・市民・行政が一体となった協力関係を築き、安全・安心なまちづくりに努め、「自主的財政健全化計画」の遵守と、市民サービスの低下を招かないよう重点選別による調整と財源の計画的・重点的な配分を行い、経常経費はゼロシーリングを基本に経費を圧縮し編成しました。

3月定例会は、3月9日から28日までの20日間の予定でしたが、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に対応するため、地震発生の日、急きよ日程を変更することを決め、3日間の集中審議を行い25日に閉会しました。

市長就任後初めて編成された平成23年度予算は、「ステップアップもとみや」の6つのスローガンの取り組みのほか、5つの重点事業に取り組み予算が計上されました。

一般会計を含む各会計の当初予算総額は、199億4383万円で、新年度事業に加え、地震災害の早期復旧を望む意見が多く出されました。最終日には、災害復旧のための補正予算を可決しました。

会計別予算額

会計名	予算額	対前年増減率(%)
一般会計	123億2,700万円	7.5
国民健康保険 特別会計	(事業勘定) 28億6,940万円	1.0
	(直営診療施設勘定) 1億1,788万円	18.4
後期高齢者医療特別会計	2億2,822万円	△2.4
介護保険 特別会計	(保険事業勘定) 18億3,645万円	6.0
	(介護サービス事業勘定) 566万円	10.3
公共下水道事業特別会計	7億1,004万円	△14.4
農業集落排水事業特別会計	5,048万円	1.2
工業用地造成事業特別会計	7億4,546万円	△7.3
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,462万円	0
阿武隈川左岸築堤用地取得事業特別会計	9,754万円	△67.6
水道事業会計	8億4,108万円	△0.5
総計	199億4,383万円	3.2

※金額は、千円の位で四捨五入して表示。水道事業会計は、収益的支出を記載。

新年度予算と 災害復旧補正予算を可決！



地震による水道の断水が発生し給水所に並ぶ市民（岩根字みずきが丘地内での給水活動）

市民一人あたりでみる市の家計

議員報酬・議会運営に
7,250円（議会費）

子ども・高齢者などの福祉に
117,204円（民生費）

職員人件費・各種計画に
41,397円（総務費）

商工業・観光振興に
22,783円（商工費）

道路や河川・公園整備に
57,775円（土木費）

一般会計
一人あたりの
予算は
389,601円です



※ H23.4.1 現在の人口 31,640 人で算出

市の借金返済に
35,111円（公債費）

健康やゴミ・環境衛生に
31,010円（衛生費）

学校教育やスポーツ・芸術文化に
49,103円（教育費）

雇用・勤労者支援に
1,524円（労働費）

消防・防災に
15,180円（消防費）

予備のお金
1,701円（予備費）

農林業の振興に
9,563円（農林水産業費）

市長へ新年度予算総括質疑

市長就任後初の新年度予算編成となりましたが、震災により当初予算に計上した事業実施を危惧する質問が多く出されました。

今後、議会においても市へ早期の災害復旧と情報発信を求めていきます。

大震災！現場主義は活かされたのか！

問 大震災後、市民から市長の姿が見えない、声が聞こえないとの意見がある。市長選挙の際に唱えていた現場主義の考えは。

答 現場主義を貫く考えを訴えて来た。災害対策本部から離れるべきではないという考えがあった。とにかく現場の復旧に努めた。防災無線で市民に情報を伝えてきたつもりでいたが、メッセージとしては伝わらなかった。最高責任者として、対策本部を離れることは難しいと考えている。



東北電力へ停電の早期復旧を求める市長(中央奥)
(3月12日災害対策本部)

職員が減っている！組織改編を！

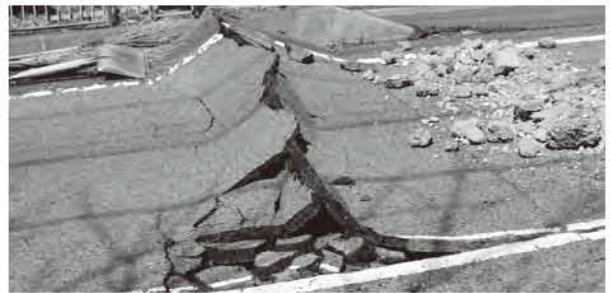
問 予算執行にあたりフットワークのある行財政を掲げ、スピード感を持って対応するというが、職員が減っている。市長が掲げたものを実行するためには、組織の改編が必要ではないのか。

答 組織改編は就任後、今年度中か来年度に検討したいということで私の意向を伝えた。限られた人数の中で多様なニーズに応え、ベストな状態にするためには組織の改編が必要である。そう遠くない時期に取り組んでいきたい。

どうする！待ったなしの災害復旧！

問 震災・原発事故に関連し予算の組み替えや補正が予想されるが、市長の考えは。

答 復旧を進める中で予算の組み替えをする状況が出てくると考える。国・県の補助事業で、市の予算を計上しているものは計画に沿って進めなければいけない。予算を確保し、優先順位をつけ復旧していく。



震災で大きく隆起した市道

農家が悲鳴を上げている！早急に対応して！

問 農産物の販路拡大に向け重点事業が計上されたが、原発問題で出荷制限など、売れなければ農家の生産意欲は湧かない。農繁期を迎え不安を募らせている市民へ早急に具体的な発信をすべきだ！

答 生産者は食べられないもの、売れないものを作るのかという感情は当然だと思うが、農地は守らなければならない。補償があるからいいというものではない。国へ被害に対する補償の担保を求め、農地を守っていくことが大切である。



農繁期を迎え米・野菜など今後の作付が心配だ！



地震により議場の天井・照明器具等が破損したことから大会議室に変更して議会を開催しました

3月定例会（第2回本宮市議会定例会）は、市長から新年度予算10件を含め、各種会計の補正予算や条例の制定など33議案と報告1件が提出されました。
また、最終日には市長から追加議案9件と、議会から東北地方太平洋沖地震に対する緊急要請の発議1件、継続調査申出書5件が提出され、すべて原案のとおり可決しました。
主な議案を要約してお知らせします。

条例

市長等給与と職員 の管理職手当 を減額

景気の低迷や厳しい雇用情勢などの状況を踏まえ、市長等の給与月額削減と管理職員の管理職手当を減額する特別の条例を可決しました。

減額は市長の任期中で、平成23年4月1日から平成27年2月3日までの期間、市長が20%、副市長・教育長が10%給与月額を減額します。

管理職員に支給される管理職手当についても10%削減します。

3役の給与削減額

	条例で定める月額	→	削減後月額	(削減年額)
市長	920,000円	→	736,000円	(2,208,000円)
副市長	700,000円	→	630,000円	(840,000円)
教育長	644,000円	→	579,600円	(772,800円)

補正予算

一般会計

一般会計補正予算（第11号）は、事業の確定見込みに伴う整理予算で、既定の歳入歳出予算の総額に1億3198万円を追加する補正予算を可決しました。

歳入歳出の主なものは、福島地方拠点都市地域ふるさと市町村圏の解散に伴い、出資金が返還されたことから、返還金を教育施設整備事業準備基金等に積立を行うものです。

太平洋沖地震の災害対策として一般会計の既定の歳入歳出予算の総額に

5000万円を追加し、123億2716万4千円とする補正予算（第12号）を可決しました。

ライフラインの復旧や施設の修繕、本宮第二中学校の仮校舎として使用するため、荒井地区公民館と隣接する体育館の改修など早急に対策が必要な経費5000万円を財政調整基金から取り崩し災害対策費用とするものです。

**地震災害対策に
5000万円を補正**
最終日には、東北地方

また、農業集落排水の污水管や隆起したマンホールなどの修繕のため、農業集落排水事業特別会計に繰出します。



市内の道路・歩道でも崩落・陥没など大きな破損が発生しました。(4月7日現在の市内通行止め16カ所)

人事案件

副市長の選任に同意

- 再任
中野一夫さん
(本宮字東町)

教育委員の任命に同意

- 新任
古宮博文さん
(本宮字大町)
- 原瀬久美子さん
(本宮字栄田)
- 谷 明子さん
(本宮字南町裡)

お世話になりました

伊藤滋敏教育委員長と佐久間和夫教育長は、3月26日をもって任期満了となりました。
また、教育委員会委員の大内綾子さんは3月31日付けで退職しました。

選挙管理委員会 委員及び補充員 選挙結果

- 選挙管理委員会委員
再任
武藤彦恵さん
(青田字庄内)
- 国分八重子さん
(糠沢字小田部)

- 新任
遠藤順子さん
(荒井字荒町)
- 菊地恵和さん
(稲沢字下喜多)

同補充員

- 新任
佐々木光一さん
(本宮字欠下)
- 佐藤安雄さん
(和田字戸ノ内)
- 再任
石川啓子さん
(白岩字堤崎)

臨時会

【1月24日】

本宮市議会議員の補欠選挙により、3名の議員が選出されたことから、議席の変更や常任委員会の選任を行いました。
一般会計補正予算では、国からのきめ細かな交付金を活用し、本宮第二中学校耐震補強工事や、白沢運動場改修工事などを行うため、2億2050万円を追加する補正予算を可決しました。



議席1番(1期)

おおうち じゅんぺい
大内 淳平 (28歳)

本宮市本宮字千代田125-1
33-1568
建設水道常任委員会



議席20番(2期)

わたなべ ただお
渡辺 忠夫 (66歳)

本宮市和田字諏訪6
44-3514
総務文教常任委員会



議席21番(2期)

くぶん かつひろ
国分 勝広 (67歳)

本宮市本宮字上町3-3
33-2813
生活福祉常任委員会

※上から議席番号(期別)、氏名(年齢)、住所、電話番号、所属常任委員会



震災翌日から、被害を受けた市民が市役所へ相談に訪れました



断水した水道が復旧するまで給水車が出動しました

平成23年 第2回 本宮市議会定例会提出陳情文書表

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	審議結果
陳情第1号	12月10日	アスペルガー症候群に特化した支援体制の整備を求める陳情書	高機能自閉症・アスペルガー症候群親の会 特定非営利活動法人スローエクスプレス 理事長 渡邊典子	採 択

国に対し東北地方太平洋沖地震対策を 早急に講じるよう緊急要請しました！！

(要請文抜粋)

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」はマグニチュード9.0と我が国の観測史上例をみない規模の大地震で、福島県をはじめとする東日本各地に甚大な被害をもたらしました。

地震災害に加え、福島県に立地されている東京電力福島第一原子力発電所で重大な事故が発生し、県内市町村において大変憂慮する事態に陥っていることから、今回の東北地方太平洋沖地震対策について、国が前面に立って早期の被災者救援と復興対策を早急に講ずるよう求めます。

記

1. 被災者の救助を早急に進めるとともに、被災者の救援に万全を期すこと。
2. 一般市民の生活にも甚大な支障をきたしているガソリン等の燃料や食料品、医薬品等について直ちに必要量を確保すること。
3. 鉄道やバスなどの公共交通機関の一刻も早い復旧に向け、最大限の支援を行うこと。
4. 原子力災害について、国は責任をもって事態の早期収拾に全力で取り組むこと。
5. 県内で放射性物質が検出されたことに伴う農家への経済的支援と、農産物等に対する風評被害を防止するための方策を講じること。

市内震度5強！東日本大震災の被害調査報告

3月11日、太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、本宮市でも震度5強が観測されました。激震は市民生活に大きな打撃を与え、道路、学校などの公共施設の損傷や、福島第一原子力発電所の放射性物質の拡散により農産物の出荷停止など、これまで誰もを経験したことのない事態が発生しました。

議会では、翌日に議員を緊急招集し、市長から被害状況報告を受け、日程を短縮して3月定例会を開催しました。



道路が大きく隆起・陥没した富士内・上沢線(仁井田字四合田)



道路・歩道が崩落した石神・堤崎線(糠沢字石神)



大きな被害が出た本宮第二中学校南校舎(荒井字団子森)



遊具が崩落した白沢保育所園庭(糠沢字五味内)

この度の地震により被害を受けられました皆さまに
心よりお見舞い申し上げます。

本宮市議会

議会を傍聴して
みませんか

6月定例会は
6月中旬開会予定です
議会事務局
Tel 33-1111
(内線 302)



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

あ
と
が
き

この度の東日本大震災で被害に遭われました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

開会中であつた3月定例議会も、災害対策最優先となり、18名から通告のあつた一般質問が見送られるなど、大幅に日程が変更され終了しました。いつまでも続く大きな余震の怖さに加え、未だ収束の見えない原発事故の影響が心配です。

一日でも早く安心・安全な以前の暮らしに戻ることを願うものです。

(秀)